DJ-P921 セットモードについて

DJ-P921 特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、カスタマイズすることができます。製品に付属する説明書の「セットモード」の項目に一覧を記載しておりますが、無線機の機能になじみの無いお客様向けに、本書にて詳細をご説明致します。

※文中の「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の値です。

1：グループトーク機能「t- -」
設定値　- -／01～50（初期値- -（OFF））

同じグループの相手とだけ通話したい時は、グループトーク機能を使用します。
全てのトランシーバーを同じグループ番号に設定します。
本機能を OFF にしている相手には自分の声が聞こえますが、自分が ON にしていると相手の声は聞こえません。異なるグループ番号の相手とも通話できません。

2：トリクル充電機能「CHG」
設定値　OFF／ON（初期値 OFF）

トリクル充電とは微少電流による補充電です。外部電源端子に AC アダプター（EDC-122）を接続し、本機の電源を ON にしている時のみ補充電されます。電源を OFF にすると補充電も停止します。**乾電池を使っているときは絶対に ON にしないでください。発熱、液漏れ、電池の破裂の恐れがあります。P921 側で使用している電池を認識することはできません。**

3：バッテリーセーブ機能「bS」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

待ち受け状態が 5 秒以上続くと内部回路を定期的にオンオフさせて、電池の消費を抑える機能です。通常は ON でお使いください。

4：エンドピー音「EndP」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

送信終了時に「ピッ音」を鳴らし、相手に通話が終了したことをお知らせする機能です。

5：ビープ音「bEEP」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

キーを押した時に鳴る操作音のオンオフです。OFF に設定している時は、エンドピー、緊急警報音、レピーターアクセスのピピ音も鳴らなくなります。

6：ノイズスケルチ機能「Sql」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

ノイズスケルチとは電波を受信していない時に出る FM 電波特有の「ザー」という雑音を聞こえなくする機能です。通常は ON で使います。（特殊な使用例でオフにすることがあるので入っています。）

7：電池残量表示「bAtt」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

電池の残容量は 10 秒に一度、ディスプレイに 3 段階で表示されるとともに、無操作状態が 30 分以上続い

た場合「ププププ」というアラーム音でお知らせします。本機能を OFF にすると上記の動作をしなくなります。

8：送信禁止機能「PttoFF」
設定値 OFF／ON（初期値 OFF）

送信を禁止する機能です。ON に設定すると［PTT］キーを押しても送信できなくなります。ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで、返事はしなくてよい」というようなメンバーがいるときに使います。
メモ：この「ラジオ」のような無線機は無線業界の用語で「受令機」と呼ばれています。

9：PTT ホールド機能「PttHoLd」
設定値 OFF／ON（初期値 OFF）

［PTT］キーを一度押すと送信状態を継続し、もう一度［PTT］キーを押すと受信待ち受け状態になります。この機能を ON にすると、送信中ずっと［PTT］キーを押していなくても良いので便利です。
一部のイヤホンマイク・ヘッドセットなどのアクセサリーで［PTT］キーのロック機能が無いものをお使いになるときに、PTT ロック代わりに使えます。
注：PTT ホールド機能は弊社純正品でも一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10：コールバック機能「CALLbC」
設定値 OFF／ON（初期値 OFF）

コールバック機能を ON に設定すると、イヤホン使用時に送信中の自分の音声をモニターすることができます。正しく送信できているか確認したいときに ON にします。

11：VOX 機能「vo」
設定値 －／Lo／Hi（初期値－（OFF））

［PTT］キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。「話すと送信、黙ると受信」のハンズフリー通話が可能になります。

Lo： VOX 感度低（大きな音で反応します。周りがうるさく黙っていても送信してしまうときにお勧めします）
Hi ：VOX 感度高（小さな音で反応します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

注：
- ・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
- ・VOX 感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
- ・VOX 機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～～～」「はい、～～～」など、用件に入るまでに頭切れしても差し支えないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

12：中継器接続手順「At」
設定値 2／1／0（初期値 2）

中継器接続手順を変更する機能です。
接続タイミングを対応中継器に合わせて最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

0（OFF）：自動接続手順解除

1： DJ-R20D、DJ-R100D を中継器とするとき
2： DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R を中継器とするとき

13：トーンマージン拡張機能「tonE2」
設定値　1～5（初期値 2）

グループトークでのトーンの判定精度を調整することができます。同じグループトーク番号に設定しているのにスケルチが開かない、ノイズでトーンが乱される、など障害がある時に有効です。１が最も厳しく、５が甘くなります。甘くし過ぎると近い番号のグループ信号でもスケルチが開くことがあり、初期設定で動作するテールノイズキャンセル機能が働かなくなるので、スケルチが切れるときの「ザ！」ノイズが聞こえます。初期値の 2 は、かなり正確なトーン判定をします。

14：マイクゲイン調整機能「GAin」
設定値 1～7（初期値 4）

送信する際のマイクゲイン（マイク感度）を調整する機能です。
相手機から聞こえる音声が小さい、または大き過ぎると感じる場合にお試しください。
使用するオプションマイクによっても差があるため、実際に使う人がレベルを変えながら良く実験してから設定してください。下手な設定をすると声が聞こえなくなったり、歪んだりします。

15：イヤホン断線検知「EA」
設定値 OFF／ON（初期値 ON）

本機は起動時に自動的にイヤホン断線検知をおこないます。断線しているとプププ…音で警告します。
他社製のイヤホンなど、外部出力端子へ接続する機器によってはまれに断線検知が誤動作することもあり、OFF が選べるようになっています。

以上

アルインコ株式会社　電子事業部